

甲状腺検査 甲状腺検査 目的と対象

「福島の子どもたちの健康を長期的に見守ります」

【目的】

チェルノブイリ原発事故後に明らかになった放射線による健康被害として、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児の甲状腺がんが報告されています。

福島県においては、チェルノブイリに比べて放射性物質の放出量が少なく、現時点では放射線の健康影響は考えにくいとされていますが、子どもたちの甲状腺の状態を把握し、健康を長期的に見守ることを目的に、平成23年10月から甲状腺検査を実施しています。この検査は、今後も**継続して実施されます**。

【対象】

平成23年3月11日時点で、概ね0歳から18歳までの福島県民、約37万人

- ・平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた方
- ・県外避難者も含む

※本格検査では平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民（約1万5,000人）にまで拡大し、計38万5,000人の検査を実施する。

県民健康管理調査甲状腺検査とは？（福島県立医大放射線医学県民健康管理センター）より作成